

スポーツYAMATO

日本リーグ茅野大会 VS MORI

上原値千金同点打



3節鹿児島大会で3打席連続本塁打を放った上原が好調だ。この日はMORIの二死中野から一時同点となるタイムリーを放った。この先も上原のバットがチームを勢いづかせて行かろう。

大接戦を演じるも惜敗

日本女子ソフトボールリーグ 第4節茅野大会 9月30日(土)茅野市運動公園野球場

MORI	0	0	0	1	1	0	1	3
	1	2	3	4	5	6	7	
大和電機	0	0	0	0	0	2	0	2

投手 齊藤未来→大串都未希

2塁打 上原彩瑛、小柳 結

日本リーグ第4節茅野大会の2戦目。2位MORIとの一戦は2点をリードされたまま終盤6回裏に突入した。先頭の村井が鮮やかなセンター前ヒット出塁すると、1死後に代打原野が2試合連続でヒットを放ち、3番上原に打席が回る。その上原も前日に続き、値千金のタイムリー2点ツーベースヒットを放ち同点に。しかし、7回表に1点を追加され、後がなくなつた。7回裏は1死後宮崎が四球で出塁すると、小柳が3塁線を鋭く破る2塁打を打ち、1死2・3塁のサヨナラのチャンスを迎えた。ここで登場したバッターは6回裏にヒットを放っている村井に回る。村井は相手バッテリーがエンドランを警戒する中、粘りに粘り、ついに杉野監督から出されたエンドラインのサインに反応したが、打った打球は投手正面のライナーでゲッツトとなり、ゲームセット。大一番を落としてしまったが、地元の大応援団の後押しもあり、最後まで手に汗握る好ゲームを演出することが出来た。最終戦は是非とも勝利を手にした。

大応援団の後押し